

製品名: リン酸化 ErbB 2 (Tyr1221/Tyr1222) ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号:** APRab00832

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ELISA,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	リン酸化
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% アジ化ナトリウムを含む PBS 液 (pH 7.3)。
精製	アフィニティークロマトグラフィー

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IHC 1:50-1:100,ELISA 1:5000-1:20000,IP 1:20-1:50
分子量	Calculated MW: 138 kDa; Observed MW: 180 kDa

抗原情報

遺伝子名	ERBB2 ERBB2; HER2; MLN19; NEU; NGL; Receptor tyrosine-protein kinase erbB-2; Metastatic lymph
別名	node gene 19 protein; MLN 19; Proto-oncogene Neu; Proto-oncogene c-ErbB-2; Tyrosine kinase-type cell surface receptor HER2; p185erbB2; CD antigen CD340
遺伝子 ID	2064
SwissProt ID	P04626
免疫原	抗血清は、ヒト HER2 由来の Tyr1221/Tyr1222 のリン酸化部位周辺の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 1191-1240

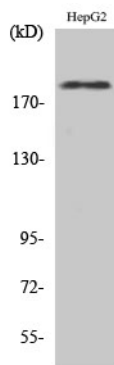
背景

この遺伝子は、受容体型チロシンキナーゼである上皮成長因子 (EGF) 受容体ファミリーのメンバーをコードしています。このタンパク質は独自のリガンド結合ドメインを持たないため、成長因子と結合することはできません。しかし、リガンド結合型 EGF 受容体ファミリーの他のメンバーと強固に結合してヘテロ二量体を形成し、リガンド結合を安定化させ、マイトジェン活性化プロテインキナーゼやホスファチジルイノシトール3キナーゼなどの下流シグナル伝達経路のキナーゼによる活性化を促進します。

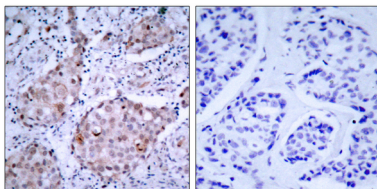
研究分野

癌

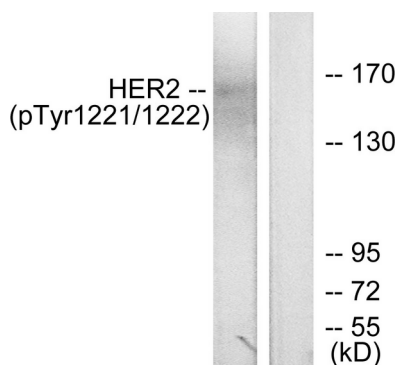
画像データ



リン酸化 ErbB 2 (Tyr1221/Tyr1222) 抗体を使用した、さまざまな溶解物中のリン酸化 ErbB 2 (Tyr1221/Tyr1222) のウエスタンブロット分析。



HER2 (リン酸化 Tyr1221/Tyr122, 2) 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト乳癌の免疫組織化学染色。抗原賦活化には、高圧高温クエン酸ナトリウム (pH 6.0) を使用しました。右側はブロッキングペプチドを添加したサンプルです。



EGF 処理した SKOV-3 ライセート中のリン酸化 ErbB 2 (Tyr1221/Tyr1222) のウエスタンブロット解析。HER2 (リン酸化 Tyr1221/Tyr122, 2) 抗体を用いた。右レーンはリン酸化ペプチドでブロッキングされている。